



感染症の流行期です。 オミクロン株対応ワクチンの接種はお早めに！

オミクロン株対応ワクチンの接種は、一人1回のみです。接種は令和5（2023）年3月で終了予定のため、希望される12歳以上の方は、速やかに予約をしてください。



12月までに初回（1・2回目）接種が完了していない方は、オミクロン株対応ワクチンの接種はできません。
詳細は、市ホームページをご覧ください。



※この内容は、11月21日(月)時点の情報です。今後変更になる場合があります。

相談・受診方法 受診前に電話で相談を

症状あり	県新型コロナ受診・相談センター TEL025-385-7634 TEL025-385-7541 TEL025-256-8275 県抗原定性検査キット配布 コールセンター TEL025-280-5967 (9:00～17:00、祝日を除く月～金曜)
	毎日 24時間対応
症状なし	県新型コロナウイルス 感染症コールセンター TEL025-282-1754 (8:30～17:00、祝日を除く月～金曜)



農業を支える貴重な水

北鯖石地区

田尻地区

ふじいぜき 藤井堰

鯖石川沿いの北鯖石地区と田尻地区などの田んぼに水を届ける重要な施設に「藤井堰」があります。この堰は約430年前に当時の藤井村に造ったものが起源といわれています。

最初の堰は、文禄4（1595）年に新しい田んぼを開墾しようと、上杉景勝の重臣であった直江兼続が築造を指示したと記録が残されています。当初は、川底に



▲北鯖石コミセン近くの天保橋からの現在の風景。上流の関野橋付近に最初の藤井堰があったといわれる。

打った杭に細い木の枝の束を組み、土俵を積んで造られた「草堰」と呼ばれる簡易なものでした。そのため洪水を受けては改修を行い、位置を上流へ移動させていきました。

今月は「歴史」をテーマにお届けします。

岡市民活動支援課

TEL21-2272 FAX22-5904

正保元（1644）年には、刈羽郡奉行の青山瀬兵衛が元々の場所から1km上流の平井に10年がかりで頑丈な堰を造りました。新たな堰は土手の高さが4.5m、長さ1,278mと当時としては非常に巨大で、見た目が武士の鎧に似ていたことから「^{よろい}鎧堰」と呼ばれました。この堰の完成により、周辺地域は水害や干ばつから救われました。



▲平井に造った「鎧堰」の想像図

現在の藤井堰は、昭和52（1977）年に完成し、農業用水の安定的な確保につながっています。先人たちの苦勞の末に、地域の農業を支える



▲現在の藤井堰

貴重な水が供給され続け、毎年実りの季節には、おいしいお米が収穫されています。

＼次号のテーマは「行事」です。お楽しみに。／



市HP



公式SNS

発行／柏崎市編集／元氣発信課
〒945-8511 新潟県柏崎市日石町2-1
TEL 025-723-5111 (代表)
FAX 025-724-7714 (代表)